

循環器内科後期研修プログラム

I. 研修目的

当科における後期研修の目的は、主として心臓脈管疾患患者の扱い方、特にプライマリーケアを含めた診察、治療に必要な知識と技術を習得することである。

当科での研修の特徴は、循環器疾患全般について基本的診察から高度医療まで幅広く研修できることである。

当科での研修の基本的方針は、以下の通りである。

1. 緊急患者への応対を研修する。基本的な救命法（CPR）はもとより高度 CPR についても十分習得できるようにする。
2. 心臓カテーテル検査、負荷心電図検査、超音波検査、核医学的検査、冠動脈 CT 検査などの諸検査を自ら行い、結果を評価できるようにする。
3. 診断、治療のための基本的方針が構築でき、EBM に基づいた標準的治療が行えるようになる。
4. PCI、EVT、EPS、アブレーション、ペースメーカー、ICD、CRT 植込などが行えるようにする。

II. 研修内容

常時患者 7～8 名の主治医（指導医との複数主治医制）となり、循環器病棟、CCU で研修を行うとともに、各種検査に参加して実習する。また、日々のカンファレンスで症例報告の訓練と知識の整理を行う。心筋梗塞患者の運動負荷・リハビリテーションにも参加する。

III. 到達目標

1. 心電図の記録と判読ができること。
2. ホルター心電図の判読ができること。
3. CT、MRI の判読ができること。
4. 心筋シンチグラム、心 RI アンジオ、心臓 CT を実施し、それらの結果を評価できること。
5. トレッドミルその他の運動負荷検査を実施し、結果を評価できること。
6. 心臓エコー図の記録、判読ができること。

7. 刺激伝導系検査、ヒス束心電図の実施、判読ができること。アブレーションの意義を理解し、実施する。
8. 冠状動脈造影検査（含 冠攣縮誘発法）を実施し、インターベンション（PCI, EVT など）にも助手として立会うこと。CAG 術者経験 200 例をめどに PCI、EVT インターベンションの術者をさせる。
9. スワン・ガンツ・カテーテルに基づく血行動態の理解ができること。
10. 救急当番、CCU 当直を受け持ち、循環器緊急症への基本的な対応ができること。
11. その他、修得すべき手技・応急処置
 - 1) スワン・ガンツ・カテーテル挿入
 - 2) 動脈穿刺
 - 3) 胸水穿刺
 - 4) 心嚢穿刺
 - 5) 心肺蘇生術
 - 6) 気管内挿管
 - 7) 電氣的除細動
 - 8) ペースメーカー植え込み術
12. 循環器系薬剤（降圧薬、利尿薬、強心薬、冠血管拡張薬、抗不整脈薬、抗凝固薬、血栓溶解薬、抗血小板薬、高脂血症治療薬など）の作用機序の理解と用法を体得し、病態に応じて使用できること。

IV. 週間スケジュール

<カンファレンス>

心カテカンファレンス：月・火・木・金曜日夕方

CCU 回診：毎朝

ハートチームカンファレンス：月曜日夕方

新入院患者カンファレンス：月曜日夕方

病棟回診：月曜日午後

不整脈カンファレンス：水曜日

<検査日>

受持ち患者に関連した下記の諸検査に参加し、また余裕のある限り他の検査も実習する。

検査項目	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
心エコー	○	○	○	○	○		○		○	○
運動負荷試験		○		○		○		○		○
RI 試験					○				○	
シネアンギオ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○